

ふるさとの会・支援付き住宅推進会議 共催シンポジウム2013

# 「いま居る場所を支援付きに」 ～地域包括ケアのなかの互助～

【日時】 2013年10月14日（体育の日）

13：30～17：00（開場13：00）

【会場】 すみだ生涯学習センター(ユートリヤ) ホール

＜開会挨拶＞

・山岡 義典 支援付き住宅推進会議 共同代表

＜基調講演＞

## 「地域包括ケアの展望

～住まいと生活支援を中心に～」

宮島 俊彦氏（前・厚生労働省老健局長）



【講演者プロフィール】 宮島 俊彦氏

前厚生労働省老健局長、平成24年9月に退官するまで4年3か月在任。

現在は、岡山大学客員教授、介護経営学会理事など。

＜パネルディスカッション＞

パネリスト

・栗田 圭一 氏（独）東京都健康長寿医療センター研究所  
自立促進と介護予防研究チーム研究部長

・水内 俊雄 氏 大阪市立大学都市研究プラザ教授

・水田 恵 NPO法人すまい・まちづくり支援機構 代表理事/  
支援付き住宅推進会議 共同代表

・宮島 俊彦 氏

コーディネーター

高橋 紘士 国際医療福祉大学大学院教授/(財)高齢者住宅財団理事長/  
支援付き住宅推進会議 共同代表

＜特別報告＞

岡村 毅 氏（独）東京都健康長寿医療センター研究所

【主催】特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会

【共催】支援付き住宅推進会議

【後援】社会福祉法人東京都社会福祉協議会

参加費：1,000円（資料代）終了後に懇親会を予定

【お問い合わせ】特定非営利活動法人

自立支援センターふるさとの会 事務局

TEL：03-3876-8150 FAX：03-3876-7950

E-mail：info@hurusatonokai.jp

## 【開催趣旨】

高齢化がすすむ社会において、とりわけ大都市部では単身者や低所得者の増加など、支援のニーズは複雑で多様になっています。これに対応するためには、NPO等による住まいの供給と、多様な社会サービスのネットワークで支える仕組みをつくっていく必要がある。「支援付き住宅推進会議」は、このような問題意識に立って—そして「たまゆら」の悲劇を繰り返さないために—、2009年8月NPO、研究者、医療・保健・福祉関係者などが集まり発足しました。認知症になっても、がんになっても、障害があっても、家族やお金がなくても、地域で孤立せず最期まで暮らせる包括的支援システムの実現と普及のためにはどうしたらいいか。一人ひとりに合わせて、住まい、生活支援、医療・保健・福祉を提供し、「今いるところを支援付きに」していくとともに、空き家を活用した「看取りのできる互助ハウス」など、低廉で適切な居住資源を創り出していく実践を積み重ね、政策提言を行ってきました。

特に深刻化する低所得者の居住問題への「解」を出すことは、切迫した課題です。2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けて、誰にとっても地域在宅生活が可能になるための、居住と生活支援のモデルをつくっていかなければなりません。地域で暮らせるためには、〈互助〉の編み直しが必要であり、認知症を抱える人を地域で支え続けることは成否の重要な分水嶺になると考えます。

本シンポジウムでは、今年『地域包括ケアの展望』を上梓された前厚労省老健局長の宮島俊彦氏に、地域包括ケアにおける住まいと生活支援の課題を中心に基調講演をしていただきます。特別報告では、認知症高齢者の在宅支援の立場から現場に関わってきた岡村毅氏に、「『いま本当に必要な支援付き住宅とは—社会的排除を超えて—』と題した問題提起をしていただきます。パネルディスカッションでは、栗田主一氏、水内俊雄氏、水田恵（共同代表）が論点を出し合い、高橋紘士（共同代表）コーディネートで、困窮者支援、地域包括ケアシステム、認知症施策推進5カ年計画（オレンジプラン）」との連携などを視野に入れながら、地域個別性を超えた制度と事業のイノベーションを提案していきます。

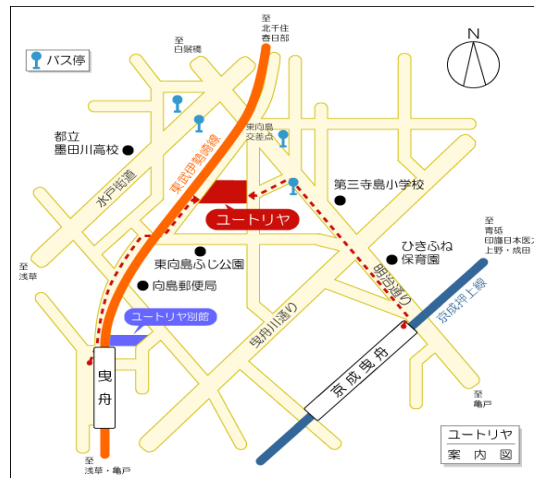
## 10.14 ふるさとの会シンポジウム申込書

### 〈お申込先〉

特定非営利活動法人自立支援センターふるさとの会事務局  
FAX:03-3876-7950 E-mail info@hurusatonokai.jp

参加ご希望の方は、下記にご記入の上、FAXにてお申込下さい。または、E-mailで同様の内容を記載の上送信いただくようお願いいたします。

※当会からのご案内をご希望の方は、メールマガジンをお送りしますので、HTMLメールを受信可能なアドレス(携帯メール不可)をお知らせ下さい。



### 【会場案内図】 すみだ生涯学習センター

東京都墨田区東向島2-38-7  
東武曳舟駅

改札口を(改札は一カ所のみ)右折、線路沿いに(北千住方面)すすみ、突き当たりガード下をくぐり左折(徒歩5分程)。

### 京成曳舟駅

青砥方面改札を出て明治通りを進み、東向島広小路のバス停先を左折(徒歩5分程)。

ご氏名	
所属団体	
部署名	
役職	
ご連絡先	TEL
	FAX
メールアドレス	(メールマガジンの配信) 希望する ・ 希望しない